

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【公表番号】特表2020-512752(P2020-512752A)

【公表日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-016

【出願番号】特願2019-551573(P2019-551573)

【国際特許分類】

H 04 L	27/26	(2006.01)
H 04 L	1/00	(2006.01)
H 04 L	1/08	(2006.01)
H 04 B	7/06	(2006.01)
H 04 W	16/28	(2009.01)
H 04 W	48/10	(2009.01)

【F I】

H 04 L	27/26	4 2 0
H 04 L	1/00	A
H 04 L	1/08	
H 04 B	7/06	9 5 0
H 04 B	7/06	9 8 4
H 04 L	27/26	1 1 4
H 04 W	16/28	
H 04 W	48/10	

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月22日(2021.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のための方法であって、

第1の同期信号(SS)ブロック中で、第1の物理ブロードキャストチャネル(PBCH)ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを受信することと、前記第1のPBCHペイロードが、前記第1のSSブロックのための第1のタイミングインジケータを含む。

時間増分を含むブロック間持続時間だけ前記第1のSSブロックから時間的に分離された第2のSSブロック中で、第2のPBCHペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第2のコードワードを受信することと、前記第2のPBCHペイロードが、前記第2のSSブロックのための第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミングインジケータが、前記第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも部分的に基づく、

前記時間増分に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの1つまたは複数の仮説を決定することと、ここにおいて、前記1つまたは複数の仮説の数が、SSブロック間の非一様なブロック間持続時間に基づく、

前記1つまたは複数の仮説における少なくとも1つの仮説の各々に基づいて前記第1の

コードワードを復号することと、前記少なくとも1つの仮説が正しい仮説を含む、

前記正しい仮説に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコードワードを復号するときに実行される巡回冗長検査（CRC）検証に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコードワードを決定することと

を備える、方法。

【請求項2】

前記1つまたは複数の仮説を決定することが、

前記時間増分に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のタイミングインジケータと前記第2のタイミングインジケータとの間のピット差分についての第1の中間の1つまたは複数の仮説を決定することと、

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前記1つまたは複数の仮説を決定することと

を備え、

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前記1つまたは複数の仮説を決定することが、

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードと前記第2のコードワードとの間の符号化ピット差分についての第2の中間の1つまたは複数の仮説を決定すること、

前記第2の中間の1つまたは複数の仮説のうちの少なくとも1つに少なくとも部分的に基づいて前記第2のコードワードのための復号メトリックの第2のセットを補正することと、

前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前記1つまたは複数の仮説を決定するために、復号メトリックの各補正された第2のセットを、前記第1のコードワードのための復号メトリックの第1のセットと組み合わせることと

を随意に備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1のタイミングインジケータが、前記第1のSSブロックのための、第1のSSブロックインデックス、または前記第1のSSブロックインデックスの一部分を備え、前記第2のタイミングインジケータが、前記第2のSSブロックのための、第2のSSブロックインデックス、または前記第2のSSブロックインデックスの一部分を備え、

前記方法は、好ましくは、

前記第1のSSブロックインデックスに少なくとも部分的に基づいて、プロードキャストチャネル送信時間間隔（BCHTTI）内の前記第1のSSブロックの第1のタイミングを決定することと、

前記第1のSSブロックインデックスに少なくとも部分的に基づいて、前記第1のSSブロックが送信されるビームを随意に識別することと

をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1のコードワードが、第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される前記第1のPBCHペイロードを備え、前記符号化された第1のPBCHペイロードのための第1の巡回冗長検査（CRC）と、前記符号化された第1のPBCHペイロードとが、第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化され、

前記第2のコードワードが、前記第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される前記第2のPBCHペイロードを備え、前記符号化された第2のPBCHペイロードのための第2のCRCと、前記符号化された第2のPBCHペイロードとが、前記第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される、

請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記時間増分がSSブロックの数を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記第1のSSブロックと前記第2のSSブロックとがブロードキャストチャネル送信時間間隔(BCHTTI)内に受信される、または、

前記第1のSSブロックと前記第2のSSブロックとが異なるブロードキャストチャネル送信時間間隔(BCHTTI)内に受信される、請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のための装置であって、前記装置は、

第1の同期信号(SS)ブロック中で、第1の物理ブロードキャストチャネル(PBCH)ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを受信するための手段と、前記第1のPBCHペイロードが、前記第1のSSブロックのための第1のタイミングインジケータを含む、

時間増分を含むブロック間持続時間だけ前記第1のSSブロックから時間的に分離された第2のSSブロック中で、第2のPBCHペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第2のコードワードを受信するための手段と、前記第2のPBCHペイロードが、前記第2のSSブロックのための第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミングインジケータが、前記第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも部分的に基づく、

前記時間増分に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの1つまたは複数の仮説を決定するための手段と、ここにおいて、仮説の数が、SSブロック間の非一様なブロック間持続時間に基づく、

前記1つまたは複数の仮説における少なくとも1つの仮説の各々に基づいて前記第1のコードワードを復号するための手段と、前記少なくとも1つの仮説が正しい仮説を含む、

前記正しい仮説に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコードワードを復号するときに実行される巡回冗長検査(CRC)検証に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコードワードを決定するための手段と

を備える装置。

【請求項 8】

基地局におけるワイヤレス通信のための方法であって、

複数の同期信号(SS)ブロックのためにリソースを割り振ることと、

時間ギャップだけ第2のSSブロックバーストから時間的に分離された第1のSSブロックバーストの第1のSSブロック中で、第1の物理ブロードキャストチャネル(PBCH)ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを送信することと、前記第1のPBCHペイロードが、前記第1のSSブロックのための第1のタイミングインジケータを含む、ここにおいて、前記時間ギャップが、SSブロック間の非一様なブロック間持続時間を導入する、

時間増分を含むブロック間持続時間だけ前記第1のSSブロックから時間的に分離された第2のSSブロック中で、第2のPBCHペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第2のコードワードを送信することと、前記第2のPBCHペイロードが、前記第2のSSブロックのための第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミングインジケータが、前記第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも部分的に基づく、ここにおいて、SSブロックのシーケンスのSSブロックが、連続したSSブロックインデックスを有する、

を備える、方法。

【請求項 9】

前記第2のSSブロックが前記第1のSSブロックバーストにおいて送信され、前記ブロック間持続時間が前記時間増分に等しい、または

前記第2のSSブロックが前記第2のSSブロックバーストにおいて送信され、ここに

おいて、前記ブロック間持続時間が前記時間ギャップを含む、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記第1のタイミングインジケータが、前記第1のSSブロックのための、第1のSSブロックインデックス、または前記第1のSSブロックインデックスの一部分を備え、前記第2のタイミングインジケータが、前記第2のSSブロックのための、第2のSSブロックインデックス、または前記第2のSSブロックインデックスの一部分を備える、請求項8に記載の方法。

【請求項11】

前記第1のSSブロックインデックスが、ブロードキャストチャネル送信時間間隔(BCHTTI)内の前記第1のSSブロックの第1のタイミングを識別し、前記第2のSSブロックインデックスが、前記BCHTTI内の前記第2のSSブロックの第2のタイミングを識別する、または

前記第1のSSブロックインデックスは、前記第1のSSブロックが送信される第1のビームを識別し、前記第2のSSブロックインデックスは、前記第2のSSブロックが送信される第2のビームを識別する、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記時間増分がSSブロックの数を備え、好ましくは、

前記第1のPBCHペイロードおよび前記第2のPBCHペイロードが各々同じマスター情報ブロック(MIB)を含む、請求項8に記載の方法。

【請求項13】

前記複数のSSブロックのために割り振られた前記リソースがブロードキャストチャネル送信時間間隔(BCHTTI)内にあり、

前記複数のSSブロックのために割り振られた前記リソースが異なるブロードキャストチャネル送信時間間隔(BCHTTI)内にある、請求項8に記載の方法。

【請求項14】

基地局におけるワイヤレス通信のための装置であって、前記装置は、
複数の同期信号(SS)ブロックのためにリソースを割り振るための手段と、
時間ギャップだけ第2のSSブロックバーストから時間的に分離された第1のSSブロックバーストの第1のSSブロック中で、第1の物理ブロードキャストチャネル(PBCH)ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを送信するための手段と、前記第1のPBCHペイロードが、前記第1のSSブロックのための第1のタイミングインジケータを含む、ここにおいて、前記時間ギャップが、SSブロック間の非一様なブロック間持続時間を導入する、

時間増分を含むブロック間持続時間だけ前記第1のSSブロックから時間的に分離された第2のSSブロック中で、第2のPBCHペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第2のコードワードを送信するための手段と、前記第2のPBCHペイロードが、前記第2のSSブロックのための第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミングインジケータが、前記第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも部分的に基づく、ここにおいて、SSブロックのシーケンスのSSブロックが、連続したSSブロックインデックスを有する、

を備える、装置。

【請求項15】

実行されると、請求項1～6および8～14のうちのいずれかに記載の方法を実行するように実行可能な命令を備えるコンピュータプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0189

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0189】

[0192]本開示についての以上の説明は、当業者が本開示を作成または使用することができるよう与えられた。本開示への様々な変更は当業者には容易に明らかとなり、本明細書で定義された一般原理は、本開示の範囲から逸脱することなく他の変形形態に適用され得る。したがって、本開示は、本明細書で説明された例および設計に限定されねばならぬ、本明細書で開示される原理および新規の技法に合致する最も広い範囲を与えるべきである。

以下に本願発明の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C 1]

ユーザ機器（UE）におけるワイヤレス通信のための方法であつて、

第1の同期信号（SS）ブロック中で、第1の物理プロードキャストチャネル（PBC
H）ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを受信す
ることと、前記第1のPBC Hペイロードが、前記第1のSSブロックのための第1のタ
イミングインジケータを含む、

時間増分だけ前記第1のSSブロックから時間的に分離された第2のSSブロック中で
、第2のPBC Hペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第2のコードワ
ードを受信することと、前記第2のPBC Hペイロードが、前記第2のSSブロックのた
めの第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミングインジケータが、前記
第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも部分的に基づく、

前記時間増分に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2
のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの1つまたは複数の仮説を決定
することと、

前記1つまたは複数の仮説における少なくとも1つの仮説の各々に基づいて前記第1の
コードワードを復号することと、前記少なくとも1つの仮説が正しい仮説を含む、

前記正しい仮説に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコードワードを復号するとき
に実行される巡回冗長検査（CRC）検証に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコ
ードワードを決定することと
を備える、方法。

[C 2]

前記1つまたは複数の仮説を決定することが、

前記時間増分に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のタイミングインジケータと前
記第2のタイミングインジケータとの間のビット差分についての第1の中間の1つまたは
複数の仮説を決定することと、

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコ
ードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前
記1つまたは複数の仮説を決定することと
を備える、C 1に記載の方法。

[C 3]

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコ
ードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前
記1つまたは複数の仮説を決定することが、

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコ
ードワードと前記第2のコードワードとの間の符号化ビット差分についての第2の中間の
1つまたは複数の仮説を決定することと、

前記第2の中間の1つまたは複数の仮説のうちの少なくとも1つに少なくとも部分的に
基づいて前記第2のコードワードのための復号メトリックの第2のセットを補正すること
と、

前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号
メトリックの前記1つまたは複数の仮説を決定するために、復号メトリックの各補正され
た第2のセットを、前記第1のコードワードのための復号メトリックの第1のセットと組
み合わせることと

を備える、C 2 に記載の方法。

[C 4]

前記組み合わせられた復号メトリックが対数尤度比（L L R）を備える、C 1 に記載の方法。

[C 5]

前記第1のタイミングインジケータが、前記第1のSSブロックのための、第1のSSブロックインデックス、または前記第1のSSブロックインデックスの一部分を備え、前記第2のタイミングインジケータが、前記第2のSSブロックのための、第2のSSブロックインデックス、または前記第2のSSブロックインデックスの一部分を備える、C 1 に記載の方法。

[C 6]

前記第1のSSブロックインデックスに少なくとも部分的に基づいて、プロードキャストチャネル送信時間間隔（BCH TTI）内の前記第1のSSブロックの第1のタイミングを決定すること

をさらに備える、C 5 に記載の方法。

[C 7]

前記第1のSSブロックインデックスに少なくとも部分的に基づいて、前記第1のSSブロックが送信されるビームを識別すること

をさらに備える、C 5 に記載の方法。

[C 8]

前記第1のコードワードが、第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される前記第1のPBCHペイロードを備え、前記符号化された第1のPBCHペイロードのための第1の巡回冗長検査（CRC）と、前記符号化された第1のPBCHペイロードとが、第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化され、

前記第2のコードワードが、前記第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される前記第2のPBCHペイロードを備え、前記符号化された第2のPBCHペイロードのための、第2のCRCと、前記符号化された第2のPBCHペイロードとが、前記第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される、

C 1 に記載の方法。

[C 9]

前記第1のコードワードが前記第2のコードワードの前に受信される、C 1 に記載の方法。

[C 1 0]

前記第2のコードワードが前記第1のコードワードの前に受信される、C 1 に記載の方法。

[C 1 1]

前記第1のタイミングインジケータおよび前記第2のタイミングインジケータが各々同じビット数を備える、C 1 に記載の方法。

[C 1 2]

前記第1のタイミングインジケータと前記第2のタイミングインジケータとが、タイミングインジケータの所定のセットからのものである、C 1 に記載の方法。

[C 1 3]

前記時間増分がSSブロックの数を備える、C 1 に記載の方法。

[C 1 4]

前記第1のPBCHペイロードおよび前記第2のPBCHペイロードが各々同じマスター情報ブロック（MIB）を含む、C 1 に記載の方法。

[C 1 5]

前記第1のSSブロックと前記第2のSSブロックとがプロードキャストチャネル送信時間間隔（BCH TTI）内に受信される、C 1 に記載の方法。

[C 1 6]

前記第1のSSブロックと前記第2のSSブロックとが異なるプロードキャストチャネル送信時間間隔(BCHTTI)内に受信される、C1に記載の方法。

[C17]

前記第1のSSブロックおよび前記第2のSSブロックが各々、1次同期信号(PSS)、2次同期信号(SSS)、またはそれらの組合せを備える、C1に記載の方法。

[C18]

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のための装置であって、前記装置は、第1の同期信号(SS)ブロック中で、第1の物理プロードキャストチャネル(PBCH)ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを受信するための手段と、前記第1のPBCHペイロードが、前記第1のSSブロックのための第1のタイミングインジケータを含む。

時間増分だけ前記第1のSSブロックから時間的に分離された第2のSSブロック中で、第2のPBCHペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第2のコードワードを受信するための手段と、前記第2のPBCHペイロードが、前記第2のSSブロックのための第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミングインジケータが、前記第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも部分的に基づく、

前記時間増分に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの1つまたは複数の仮説を決定するための手段と、

前記1つまたは複数の仮説における少なくとも1つの仮説の各々に基づいて前記第1のコードワードを復号するための手段と、前記少なくとも1つの仮説が正しい仮説を含む、

前記正しい仮説に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコードワードを復号するときに実行される巡回冗長検査(CRC)検証に少なくとも部分的に基づいて前記第1のコードワードを決定するための手段と

を備える装置。

[C19]

前記1つまたは複数の仮説を決定するための前記手段が、

前記時間増分に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のタイミングインジケータと前記第2のタイミングインジケータとの間のビット差分についての第1の中間の1つまたは複数の仮説を決定するための手段と、

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前記1つまたは複数の仮説を決定するための手段と

をさらに備える、C18に記載の装置。

[C20]

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前記1つまたは複数の仮説を決定するための前記手段が、

前記第1の中間の1つまたは複数の仮説に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のコードワードと前記第2のコードワードとの間の符号化ビット差分についての第2の中間の1つまたは複数の仮説を決定するための手段と、

前記第2の中間の1つまたは複数の仮説のうちの少なくとも1つに少なくとも部分的に基づいて前記第2のコードワードのための復号メトリックの第2のセットを補正するための手段と、

前記第1のコードワードおよび前記第2のコードワードのための組み合わせられた復号メトリックの前記1つまたは複数の仮説を決定するために、復号メトリックの各補正された第2のセットを、前記第1のコードワードのための復号メトリックの第1のセットと組み合わせるための手段と

をさらに備える、C19に記載の装置。

[C21]

前記組み合わせられた復号メトリックが対数尤度比（LLR）を備える、C18に記載の装置。

[C22]

前記第1のタイミングインジケータが、前記第1のSSブロックのための、第1のSSブロックインデックス、または前記第1のSSブロックインデックスの一部分を備え、前記第2のタイミングインジケータが、前記第2のSSブロックのための、第2のSSブロックインデックス、または前記第2のSSブロックインデックスの一部分を備える、C18に記載の装置。

[C23]

前記第1のSSブロックインデックスに少なくとも部分的に基づいて、プロードキャストチャネル送信時間間隔（BCHTTI）内の前記第1のSSブロックの第1のタイミングを決定するための手段をさらに備える、C22に記載の装置。

[C24]

前記第1のSSブロックインデックスに少なくとも部分的に基づいて、前記第1のSSブロックが送信されるビームを識別するための手段をさらに備える、C22に記載の装置。

[C25]

前記第1のコードワードが、第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される前記第1のPBCHペイロードを備え、前記符号化された第1のPBCHペイロードと、前記符号化された第1のPBCHペイロードのための第1の巡回冗長検査（CRC）とが、第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化され、

前記第2のコードワードが、前記第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される前記第2のPBCHペイロードを備え、前記符号化された第2のPBCHペイロードと、前記符号化された第2のPBCHペイロードのための第2のCRCとが、前記第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて符号化される、

C18に記載の装置。

[C26]

前記第1のコードワードが前記第2のコードワードの前に受信される、C18に記載の装置。

[C27]

前記第2のコードワードが前記第1のコードワードの前に受信される、C18に記載の装置。

[C28]

前記第1のタイミングインジケータおよび前記第2のタイミングインジケータが各々同じビット数を備える、C18に記載の装置。

[C29]

前記第1のタイミングインジケータと前記第2のタイミングインジケータとが、タイミングインジケータの所定のセットからのものである、C18に記載の装置。

[C30]

前記時間増分がSSブロックの数を備える、C18に記載の装置。

[C31]

前記第1のPBCHペイロードおよび前記第2のPBCHペイロードが各々同じマスター情報ブロック（MIB）を含む、C18に記載の装置。

[C32]

前記第1のSSブロックと前記第2のSSブロックとがプロードキャストチャネル送信時間間隔（BCHTTI）内に受信される、C18に記載の装置。

[C33]

前記第1のSSブロックと前記第2のSSブロックとが異なるプロードキャストチャネル送信時間間隔（BCHTTI）内に受信される、C18に記載の装置。

[C 3 4]

前記第1のSSブロックおよび前記第2のSSブロックが各々、1次同期信号(P S S)、2次同期信号(S S S)、またはそれらの組合せを備える、C 1 8に記載の装置。

[C 3 5]

基地局におけるワイヤレス通信のための方法であって、
複数の同期信号(S S)ブロックのためにリソースを割り振ることと、
時間ギャップだけ第2のSSブロックバーストから時間的に分離された第1のSSブロ
ックバーストの第1のSSブロック中で、第1の物理ブロードキャストチャネル(P B C H)ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを送信す
ることと、前記第1のP B C Hペイロードが、前記第1のSSブロックのための第1のタ
イミングインジケータを含む、

時間増分を含むブロック間持続時間だけ前記第1のSSブロックから時間的に分離され
た第2のSSブロック中で、第2のP B C Hペイロードの線形符号化に少なくとも部分的
に基づいて第2のコードワードを送信することと、前記第2のP B C Hペイロードが、前
記第2のSSブロックのための第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミ
ングインジケータが、前記第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも
部分的に基づく、
を備える、方法。

[C 3 6]

前記第2のSSブロックが前記第1のSSブロックバーストにおいて送信され、前記ブ
ロック間持続時間が前記時間増分に等しい、C 3 5に記載の方法。

[C 3 7]

前記第2のSSブロックが前記第2のSSブロックバーストにおいて送信され、ここに
おいて、前記ブロック間持続時間が前記時間ギャップを含む、C 3 5に記載の方法。

[C 3 8]

第3のSSブロック中で、第3のP B C Hペイロードの線形符号化に少なくとも部分的
に基づいて第3のコードワードを送信することをさらに備え、ここにおいて、前記第3の
SSブロックが、前記ブロック間持続時間だけ他のSSブロックから時間的に分離され
ない、
C 3 5に記載の方法。

[C 3 9]

前記第1のタイミングインジケータが、前記第1のSSブロックのための、第1のSS
ブロックインデックス、または前記第1のSSブロックインデックスの一部分を備え、前
記第2のタイミングインジケータが、前記第2のSSブロックのための、第2のSSブロ
ックインデックス、または前記第2のSSブロックインデックスの一部分を備える、C 3
5に記載の方法。

[C 4 0]

前記第1のSSブロックインデックスが、ブロードキャストチャネル送信時間間隔(B
C H T T I)内の前記第1のSSブロックの第1のタイミングを識別し、前記第2のS
Sブロックインデックスが、前記B C H T T I内の前記第2のSSブロックの第2のタ
イミングを識別する、C 3 9に記載の方法。

[C 4 1]

前記第1のSSブロックインデックスは、前記第1のSSブロックが送信される第1の
ビームを識別し、前記第2のSSブロックインデックスは、前記第2のSSブロックが送
信される第2のビームを識別する、C 3 9に記載の方法。

[C 4 2]

第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて前記第1のP B C Hペイロードを符号
化することと、

前記符号化された第1のP B C Hペイロードのための第1の巡回冗長検査(C R C)を
決定することと、

第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて、前記符号化された第1のP B C Hペイロードと前記第1のC R Cとを符号化することによって、前記第1のコードワードを決定することと、

前記第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて前記第2のP B C Hペイロードを符号化することと、

前記符号化された第2のP B C Hペイロードのための第2のC R Cを決定することと、

前記第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて、前記符号化された第2のP B C Hペイロードと前記第2のC R Cとを符号化することによって、前記第2のコードワードを決定することと

をさらに備える、C 3 5に記載の方法。

[C 4 3]

前記第1のタイミングインジケータおよび前記第2のタイミングインジケータが各々同じビット数を備える、C 3 5に記載の方法。

[C 4 4]

タイミングインジケータの所定のセットから前記第1のタイミングインジケータと前記第2のタイミングインジケータとを選択すること
をさらに備える、C 3 5に記載の方法。

[C 4 5]

前記時間増分がS S ブロックの数を備える、C 3 5に記載の方法。

[C 4 6]

前記第1のP B C Hペイロードおよび前記第2のP B C Hペイロードが各々同じマスター情報ブロック(M I B)を含む、C 3 5に記載の方法。

[C 4 7]

前記複数のS S ブロックのために割り振られた前記リソースがブロードキャストチャネル送信時間間隔(B C H T T I)内にある、C 3 5に記載の方法。

[C 4 8]

前記複数のS S ブロックのために割り振られた前記リソースが異なるブロードキャストチャネル送信時間間隔(B C H T T I)内にある、C 3 5に記載の方法。

[C 4 9]

前記第1のS S ブロックおよび前記第2のS S ブロックが各々、1次同期信号(P S S)、2次同期信号(S S S)、またはそれらの組合せを備える、C 3 5に記載の方法。

[C 5 0]

基地局におけるワイヤレス通信のための装置であって、前記装置は、
複数の同期信号(S S)ブロックのためにリソースを割り振るための手段と、
時間ギャップだけ第2のS S ブロックバーストから時間的に分離された第1のS S ブロックバーストの第1のS S ブロック中で、第1の物理ブロードキャストチャネル(P B C H)ペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第1のコードワードを送信するための手段と、前記第1のP B C Hペイロードが、前記第1のS S ブロックのための第1のタイミングインジケータを含む、

時間増分を含むブロック間持続時間だけ前記第1のS S ブロックから時間的に分離された第2のS S ブロック中で、第2のP B C Hペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第2のコードワードを送信するための手段と、前記第2のP B C Hペイロードが、前記第2のS S ブロックのための第2のタイミングインジケータを含み、前記第2のタイミングインジケータが、前記第1のタイミングインジケータと前記時間増分とに少なくとも部分的に基づく、

を備える、装置。

[C 5 1]

前記第2のS S ブロックが前記第1のS S ブロックバーストにおいて送信され、ここにおいて、前記ブロック間持続時間が前記時間増分に等しい、C 5 0に記載の装置。

[C 5 2]

前記第2のSSブロックが前記第1のSSブロックバーストにおいて送信され、前記ブロック間持続時間が前記時間増分に等しい、C50に記載の装置。

[C53]

第3のSSブロック中で、第3のPBCHペイロードの線形符号化に少なくとも部分的に基づいて第3のコードワードを送信するための手段をさらに備え、ここにおいて、前記第3のSSブロックが、前記ブロック間持続時間だけ他のSSブロックから時間的に分離されない、

C50に記載の装置。

[C54]

前記第1のタイミングインジケータが、前記第1のSSブロックのための、第1のSSブロックインデックス、または前記第1のSSブロックインデックスの一部分を備え、前記第2のタイミングインジケータが、前記第2のSSブロックのための、第2のSSブロックインデックス、または前記第2のSSブロックインデックスの一部分を備える、C50に記載の装置。

[C55]

前記第1のSSブロックインデックスが、ブロードキャストチャネル送信時間間隔(BCHTTI)内の前記第1のSSブロックの第1のタイミングを識別し、前記第2のSSブロックインデックスが、前記BCHTTI内の前記第2のSSブロックの第2のタイミングを識別する、C54に記載の装置。

[C56]

前記第1のSSブロックインデックスは、前記第1のSSブロックが送信される第1のビームを識別し、前記第2のSSブロックインデックスは、前記第2のSSブロックが送信される第2のビームを識別する、C54に記載の装置。

[C57]

第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて前記第1のPBCHペイロードを符号化するための手段と、

前記符号化された第1のPBCHペイロードのための第1の巡回冗長検査(CRC)を決定するための手段と、

第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて、前記符号化された第1のPBCHペイロードと前記第1のCRCとを符号化することによって、前記第1のコードワードを決定するための手段と、

前記第1の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて前記第2のPBCHペイロードを符号化するための手段と、

前記符号化された第2のPBCHペイロードのための第2のCRCを決定するための手段と、

前記第2の線形符号化に少なくとも部分的に基づいて、前記符号化された第2のPBCHペイロードと前記第2のCRCとを符号化することによって、前記第2のコードワードを決定するための手段と

をさらに備える、C50に記載の装置。

[C58]

前記第1のタイミングインジケータおよび前記第2のタイミングインジケータが各々同じビット数を備える、C50に記載の装置。

[C59]

タイミングインジケータの所定のセットから前記第1のタイミングインジケータと前記第2のタイミングインジケータとを選択するための手段
をさらに備える、C50に記載の装置。

[C60]

前記時間増分がSSブロックの数を備える、C50に記載の装置。